

# 令和7年度 市民アンケート分析結果

---

令和8年1～2月

那珂市 企画部政策企画課

## ■ 調査概要

---

### ■ 調査目的：

・市民の現状や意向を把握することにより第2次那珂市総合計画等各種計画の進行管理を実施するため。

### ■ 調査対象：18歳以上の市民

### ■ 対象者数：2,000通（18歳以上の市民の中から系統抽出法により抽出）

### ■ 回答者数：867人

### ■ 調査期間：令和8年（2026年）1月19日～令和8年（2026年）2月13日

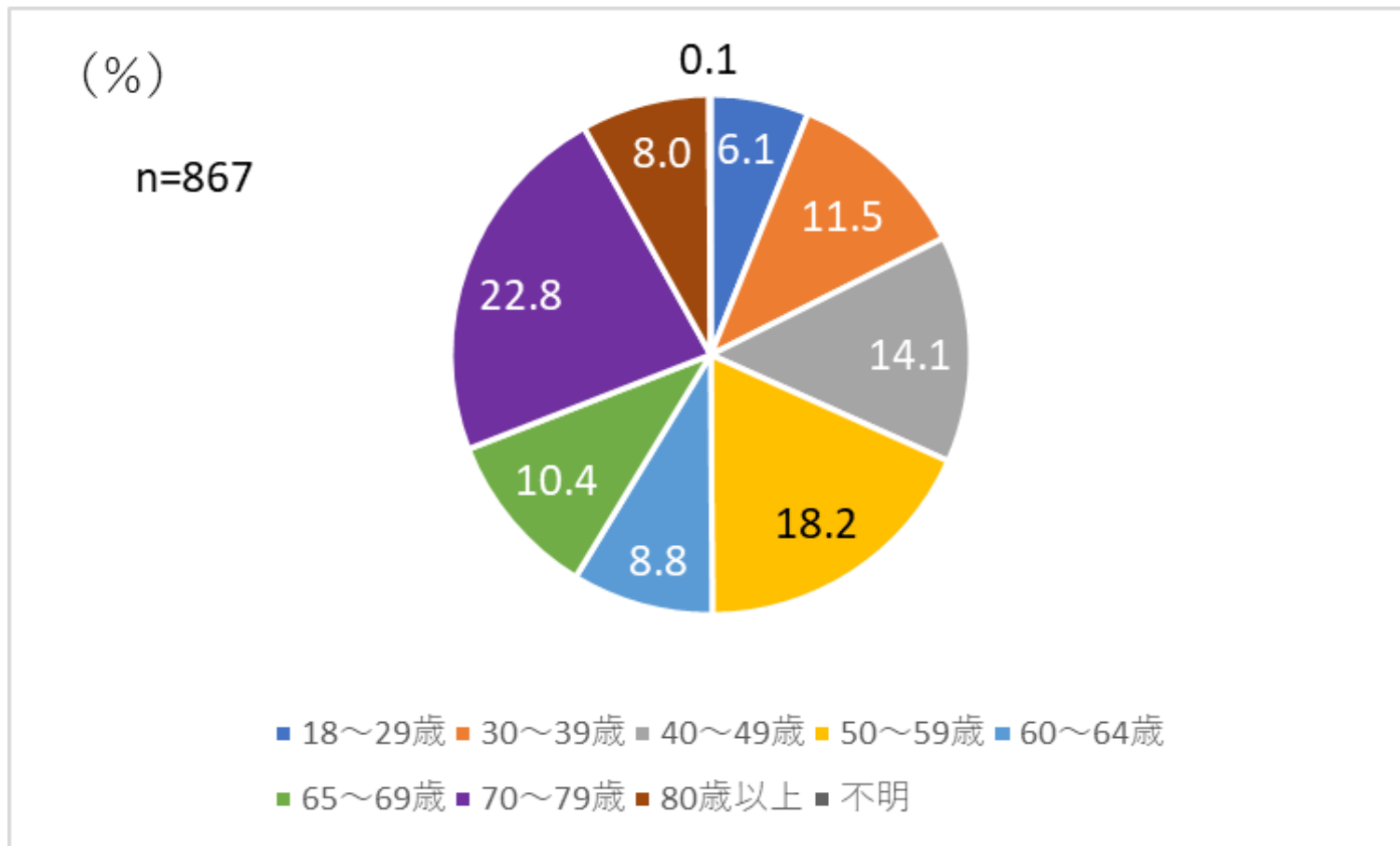
### ■ 調査方法：インターネットまたは郵送での回答

# 1. 回答者の属性

---

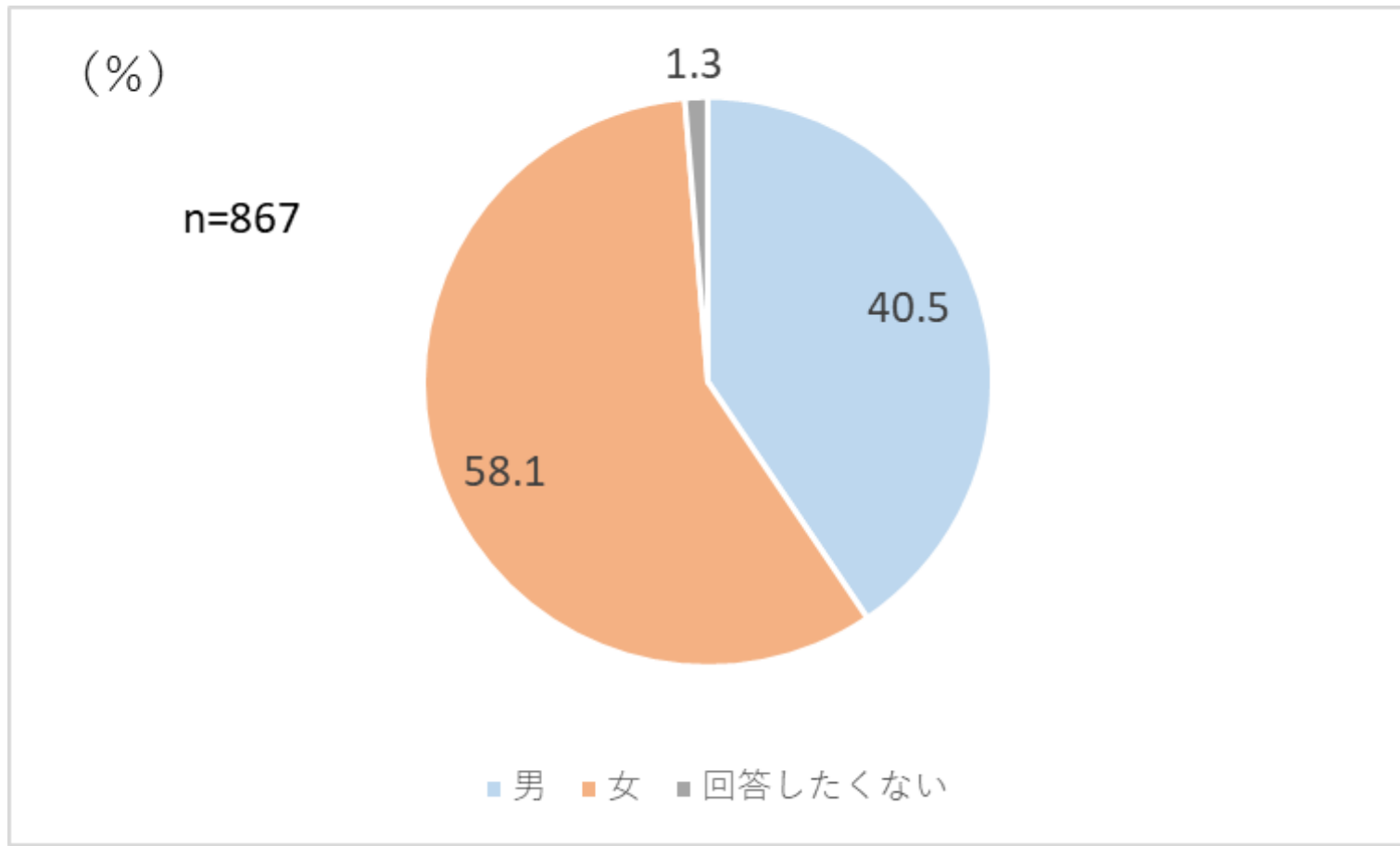
# 1. 年齢

- 70代が2割超、50代が2割



## 2. 性別

- 男性4割、女性6割

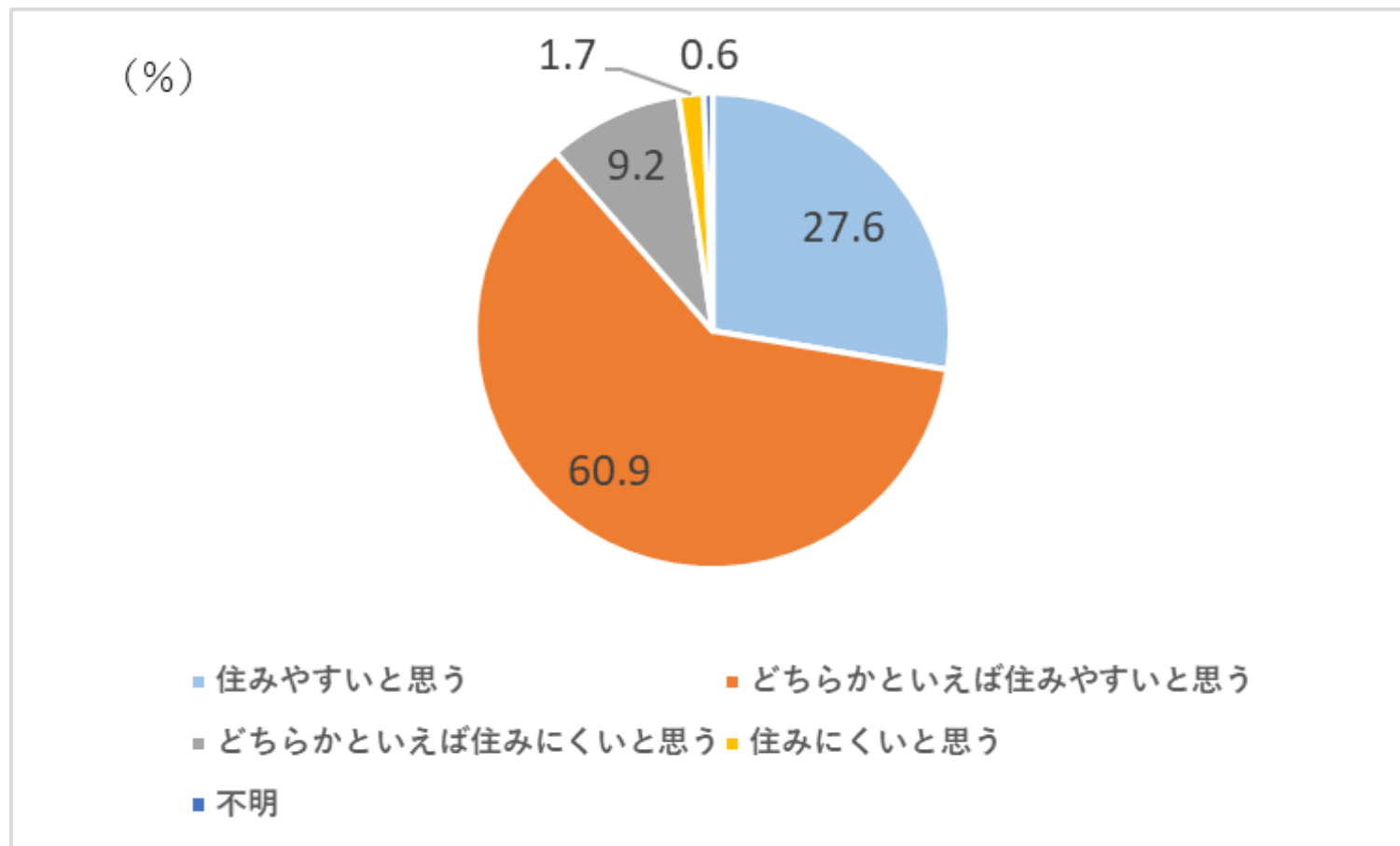


## II. 那珂市の住みやすさ

---

## 1. 那珂市の住みやすさ（全体）

- 「住みやすい」回答割合：88.5%  
（「住みやすいと思う」と「どちらかといえば住みやすいと思う」の合計）



## 2. 那珂市の住みやすさ（性別）

- 「住みやすい」回答割合は、男性が9割、女性は9割弱
- 女性の「住みにくい」割合は1割超

(%)

性別	住みやすいと思う	どちらかといえば 住みやすいと思う	どちらかといえば 住みにくいと思う	住みにくいと思う	「住みやすい」 回答割合	「住みにくい」 回答割合
男性 (n=347)	30.3	61.1	7.5	1.2	91.4	8.7
女性 (n=503)	26.4	61.4	10.3	1.8	87.8	12.1
回答したくない (n=11)	9.1	54.5	18.2	18.2	63.6	36.4

### 3. 那珂市の住みやすさ（年齢別）

- 20代以下、30代、60代前半は「住みやすい」回答割合が9割以上
- 「住みにくい」回答割合では、50代が最も高く、次いで80代、70代に

(%)

年齢	住みやすいと思う	どちらかといえば 住みやすいと思う	どちらかといえば 住みにくいと思う	住みにくいと思う	「住みやすい」 回答割合	「住みにくい」 回答割合
18～29歳(n=53)	32.1	66.0	1.9	0.0	98.1	1.9
30～39歳(n=100)	29.0	63.0	7.0	1.0	92.0	8.0
40～49歳(n=121)	28.9	59.5	9.9	1.7	88.4	11.6
50～59歳(n=157)	22.3	61.8	13.4	2.5	84.1	15.9
60～64歳(n=76)	32.9	61.8	5.3	0.0	94.7	5.3
65～69歳(n=90)	26.7	62.2	6.7	4.4	88.9	11.1
70～79歳(n=196)	28.1	59.7	10.7	1.5	87.8	12.2
80歳以上(n=68)	27.9	58.8	11.8	1.5	86.7	13.3

## 4. 那珂市の住みやすさ（性別×年齢別）

- 「住みにくい」回答割合は、女性80代が最も高く、次いで女性50代、女性60代・70代と続く

(%)

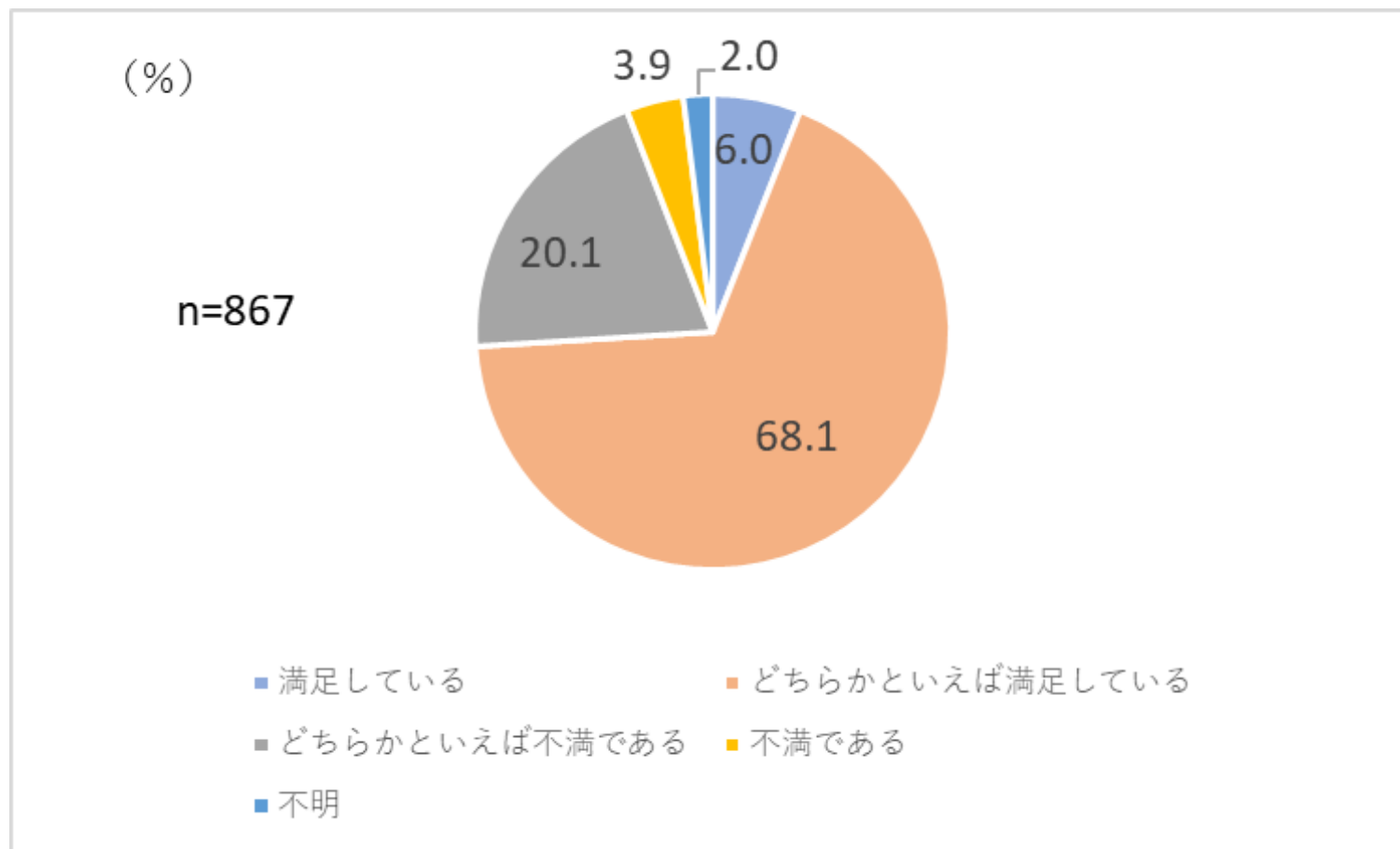
性別	年齢	住みやすいと思う	どちらかといえば 住みやすいと思う	どちらかといえば 住みにくいと思う	住みにくいと思う	「住みやすい」 回答割合	「住みにくい」 回答割合
男性	18～29歳(n=16)	37.5	62.5	0.0	0.0	100.0	0.0
	30～39歳(n=29)	37.9	55.2	6.9	0.0	93.1	6.9
	40～49歳(n=40)	30.0	62.5	7.5	0.0	92.5	7.5
	50～59歳(n=56)	23.2	66.1	8.9	1.8	89.3	10.7
	60～64歳(n=34)	32.4	61.8	5.9	0.0	94.2	5.9
	65～69歳(n=40)	30.0	60.0	7.5	2.5	90.0	10.0
	70～79歳(n=94)	33.0	55.3	10.6	1.1	88.3	11.7
	80歳以上(n=38)	23.7	71.1	2.6	2.6	94.8	5.2
女性	18～29歳(n=35)	31.4	65.7	2.9	0.0	97.1	2.9
	30～39歳(n=69)	26.1	65.2	7.2	1.4	91.3	8.6
	40～49歳(n=78)	29.5	59.0	10.3	1.3	88.5	11.6
	50～59歳(n=99)	21.2	60.6	15.2	3.0	81.8	18.2
	60～64歳(n=42)	33.3	61.9	4.8	0.0	95.2	4.8
	65～69歳(n=50)	24.0	64.0	6.0	6.0	88.0	12.0
	70～79歳(n=100)	24.0	64.0	11.0	1.0	88.0	12.0
	80歳以上(n=30)	33.3	43.3	23.3	0.0	76.6	23.3

### Ⅲ. 市民サービスの満足度

---

## 1. 市民サービスの満足度（全体）

- 満足回答割合（「満足している」と「どちらかといえば満足している」の合計）：74.1%



## 2. 市民サービスの満足度（性別）

- 「満足」回答割合をみると、男性が8割と女性を上回る

(%)

性別	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	「満足」回答割合	「不満」回答割合
男性（n=343）	7.3	70.8	18.7	3.2	78.1	21.9
女性（n=495）	5.3	69.1	21.6	4.0	74.4	25.6
回答したくない（n=11）	0.0	45.5	27.3	27.3	45.5	54.6

### 3. 市民サービスの満足度（年齢別）

- 「満足」回答割合では、20代以下、80代以上、60代後半が8割以上
- 「不満」回答割合は、50代が3割と最も高く、次いで30代、60代前半と続く

(%)

年齢	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	「満足」回答割合	「不満」回答割合
18～29歳(n=53)	15.1	71.7	7.5	5.7	86.8	13.2
30～39歳(n=99)	9.1	61.6	23.2	6.1	70.7	29.3
40～49歳(n=122)	2.5	71.3	20.5	5.7	73.8	26.2
50～59歳(n=156)	2.6	66.0	26.9	4.5	68.6	31.4
60～64歳(n=75)	6.7	65.3	25.3	2.7	72.0	28.0
65～69歳(n=89)	4.5	79.8	13.5	2.2	84.3	15.7
70～79歳(n=187)	7.5	67.9	21.4	3.2	75.4	24.6
80歳以上(n=68)	5.9	79.4	13.2	1.5	85.3	14.7

## 4. 市民サービスの満足度（性別×年齢別）

- 「満足」回答割合をみると、20代女性が最も高く、次いで20代男性、80歳以上男性
- 「不満」回答割合では、50代女性と30代女性が3割以上に

(%)

性別	年齢	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	「満足」回答割合	「不満」回答割合
男性	18～29歳(n=16)	12.5	75.0	6.3	6.3	87.5	12.6
	30～39歳(n=29)	17.2	62.1	13.8	6.9	79.3	20.7
	40～49歳(n=41)	2.4	70.7	19.5	7.3	73.1	26.8
	50～59歳(n=56)	1.8	78.6	19.6	0.0	80.4	19.6
	60～64歳(n=34)	8.8	61.8	26.5	2.9	70.6	29.4
	65～69歳(n=39)	2.6	82.1	12.8	2.6	84.7	15.4
	70～79歳(n=90)	10.0	63.3	24.4	2.2	73.3	26.6
	80歳以上(n=38)	7.9	78.9	10.5	2.6	86.8	13.1
女性	18～29歳(n=35)	17.1	71.4	8.6	2.9	88.5	11.5
	30～39歳(n=68)	5.9	61.8	26.5	5.9	67.7	32.4
	40～49歳(n=78)	2.6	73.1	19.2	5.1	75.7	24.3
	50～59歳(n=98)	3.1	59.2	31.6	6.1	62.3	37.7
	60～64歳(n=41)	4.9	68.3	24.4	2.4	73.2	26.8
	65～69歳(n=50)	6.0	78.0	14.0	2.0	84.0	16.0
	70～79歳(n=95)	5.3	72.6	18.9	3.2	77.9	22.1
	80歳以上(n=30)	3.3	80.0	16.7	0.0	83.3	16.7

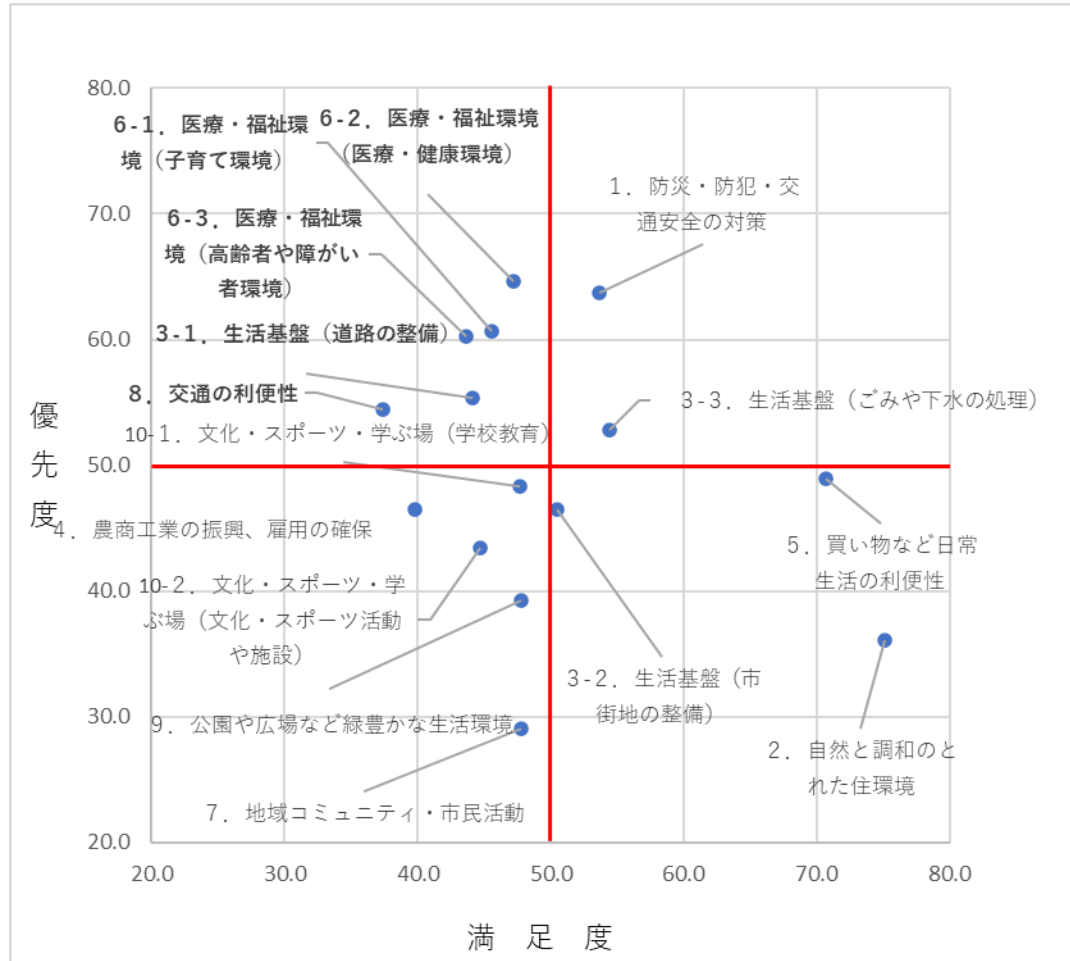
## IV. 取り組みの重要度と満足度

---

### CS分析

# 1. 取り組みの重要度と満足度：全体

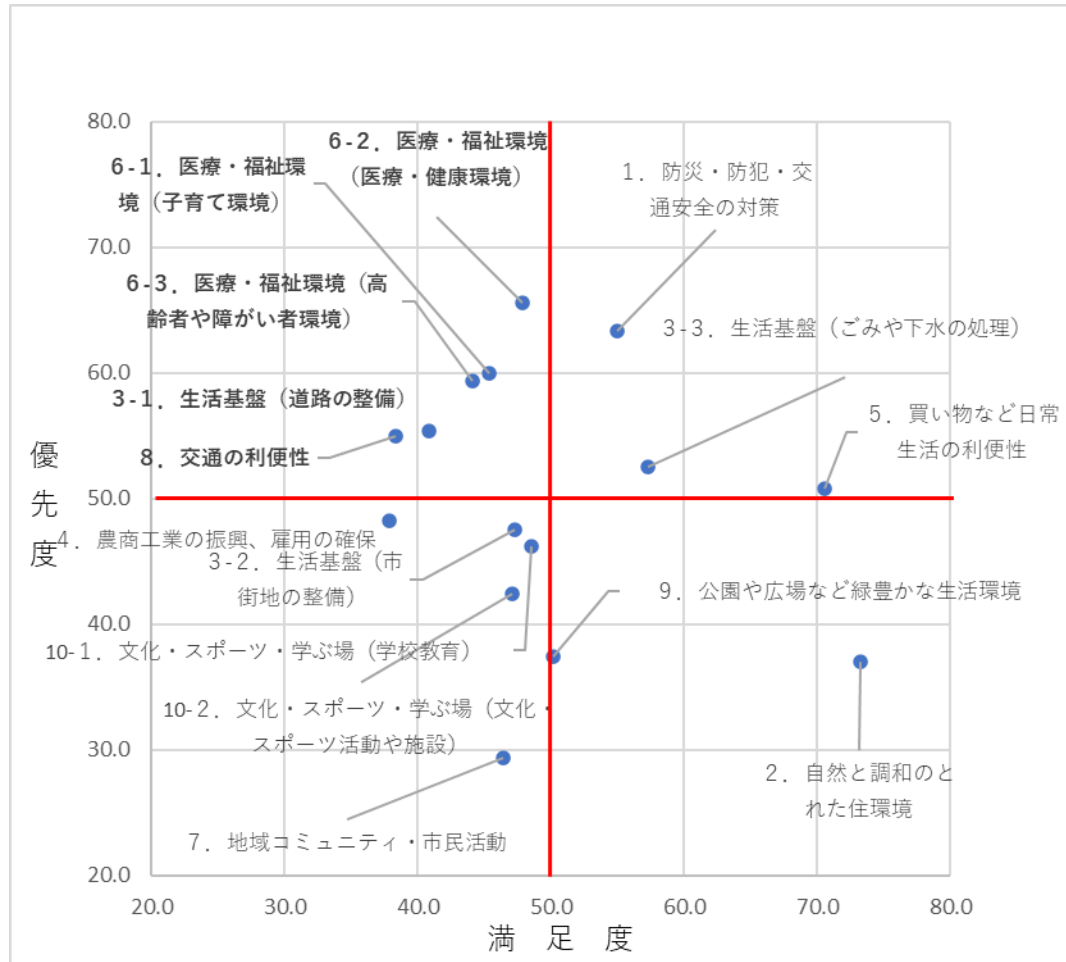
- 最優先に取り組むべきことは「医療・福祉環境」、「生活基盤（道路の整備）」、「交通の利便性」



最優先に改善すべき項目 満足度:低 重要度:高	評価が高い項目 満足度:高 重要度:高
評価が低い項目 満足度:低 重要度:低	現状を維持していく項目 満足度:高 重要度:低

## 2. 取り組みの重要度と満足度：性別（男性）

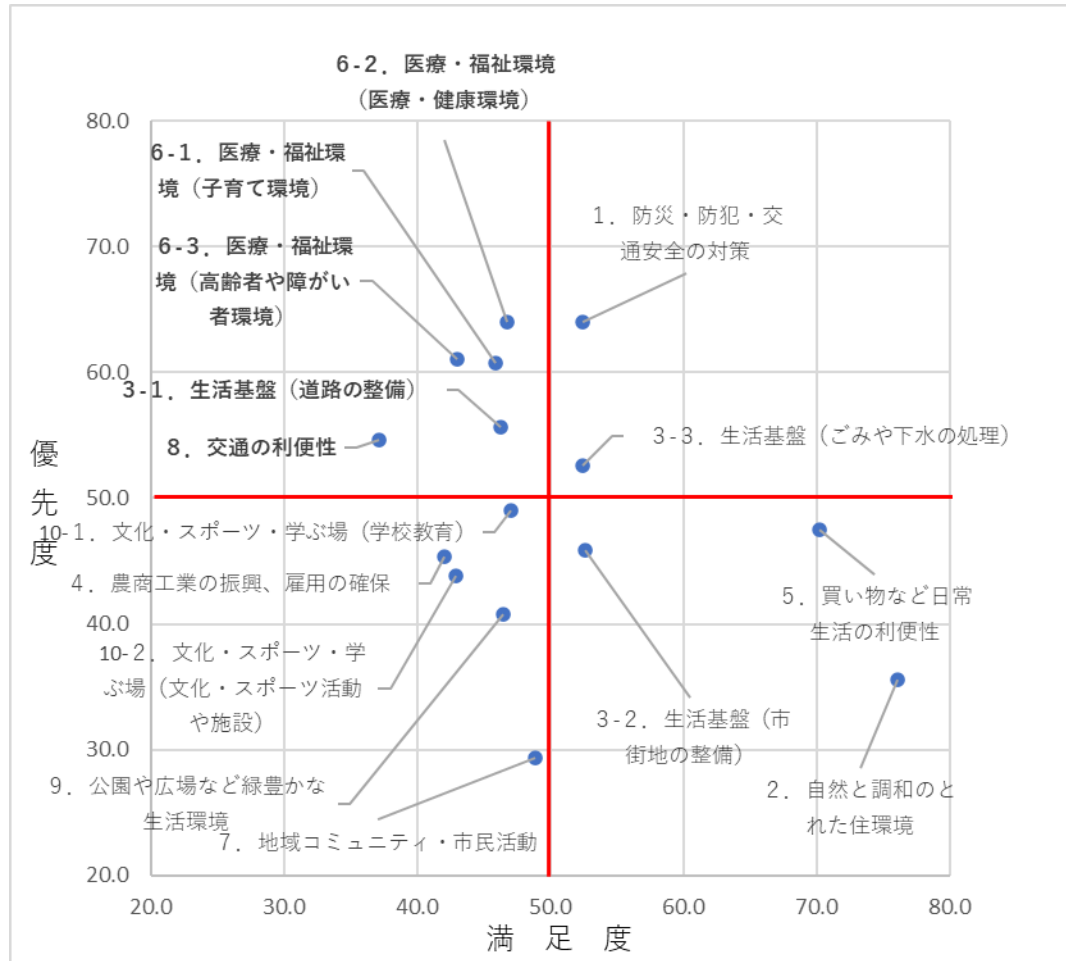
- 最優先に取り組むべきことは「医療・福祉環境」、「生活基盤（道路の整備）」、「交通の利便性」



最優先に改善すべき項目 満足度:低 重要度:高	評価が高い項目 満足度:高 重要度:高
評価が低い項目 満足度:低 重要度:低	現状を維持していく項目 満足度:高 重要度:低

## 2. 取り組みの重要度と満足度：性別（女性）

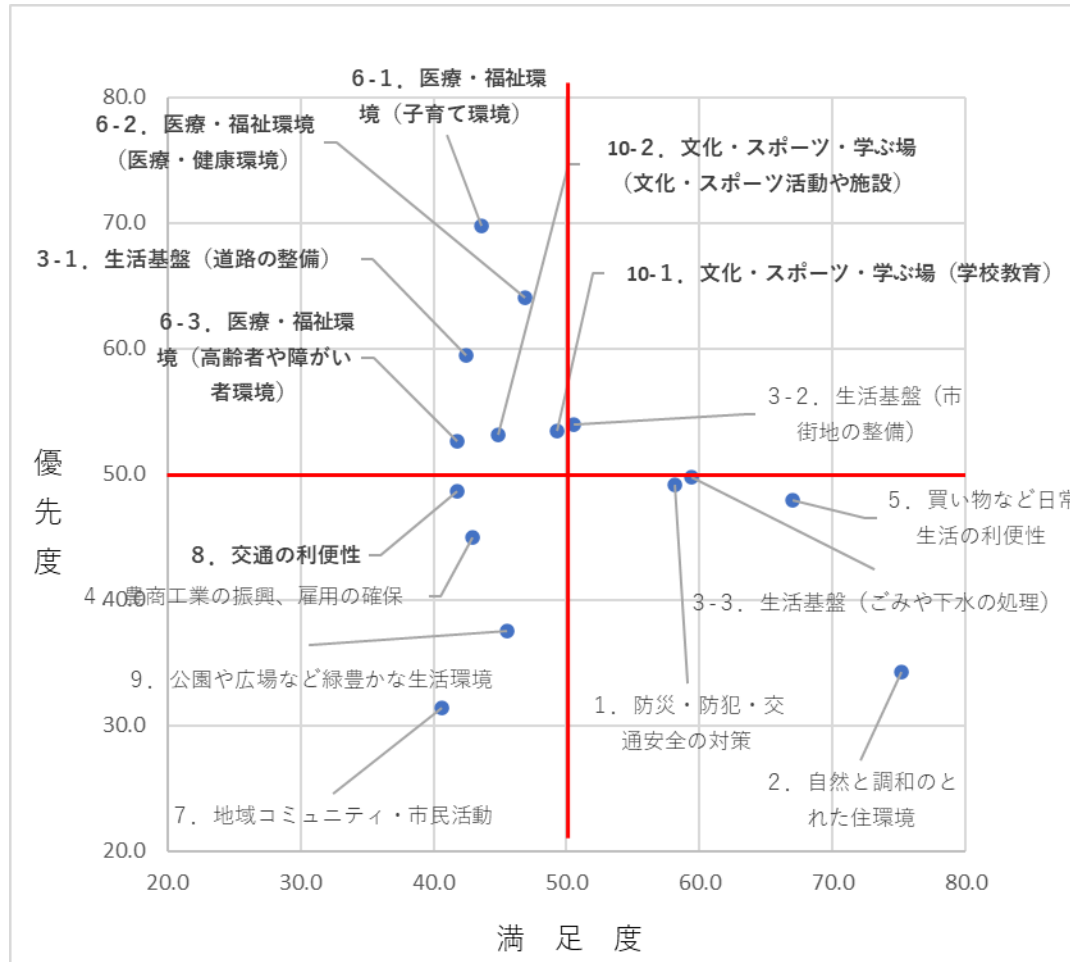
- 最優先に取り組むべきことは「医療・福祉環境」、「生活基盤（道路の整備）」、「交通の利便性」



最優先に改善すべき項目 満足度:低 重要度:高	評価が高い項目 満足度:高 重要度:高
評価が低い項目 満足度:低 重要度:低	現状を維持していく項目 満足度:高 重要度:低

### 3. 取り組みの重要度と満足度：年齢別（20代以下）

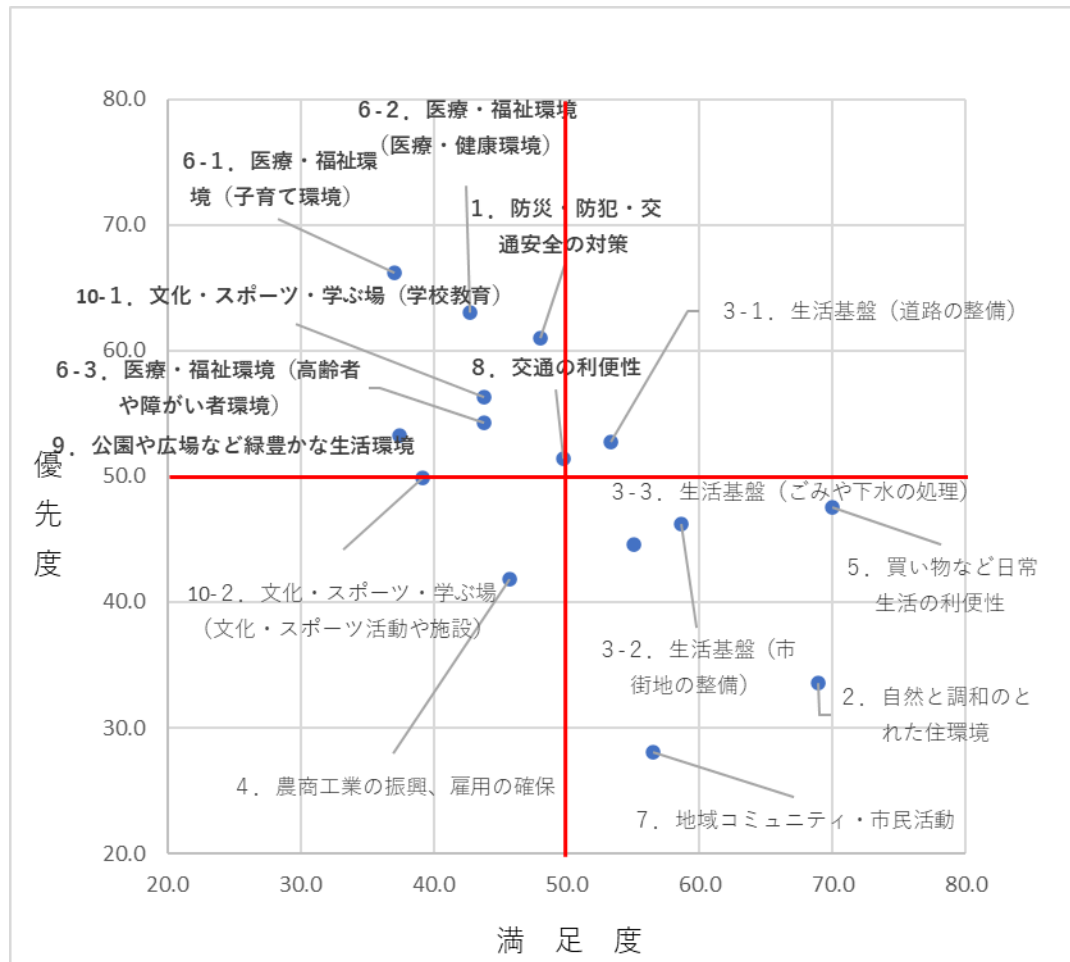
- 最優先に取り組むべきことは「医療・福祉環境」、「生活基盤（道路の整備）」、「文化・スポーツ・学ぶ場」



最優先に改善すべき項目 満足度:低 重要度:高	評価が高い項目 満足度:高 重要度:高
評価が低い項目 満足度:低 重要度:低	現状を維持していく項目 満足度:高 重要度:低

### 3. 取り組みの重要度と満足度：年齢別（30代）

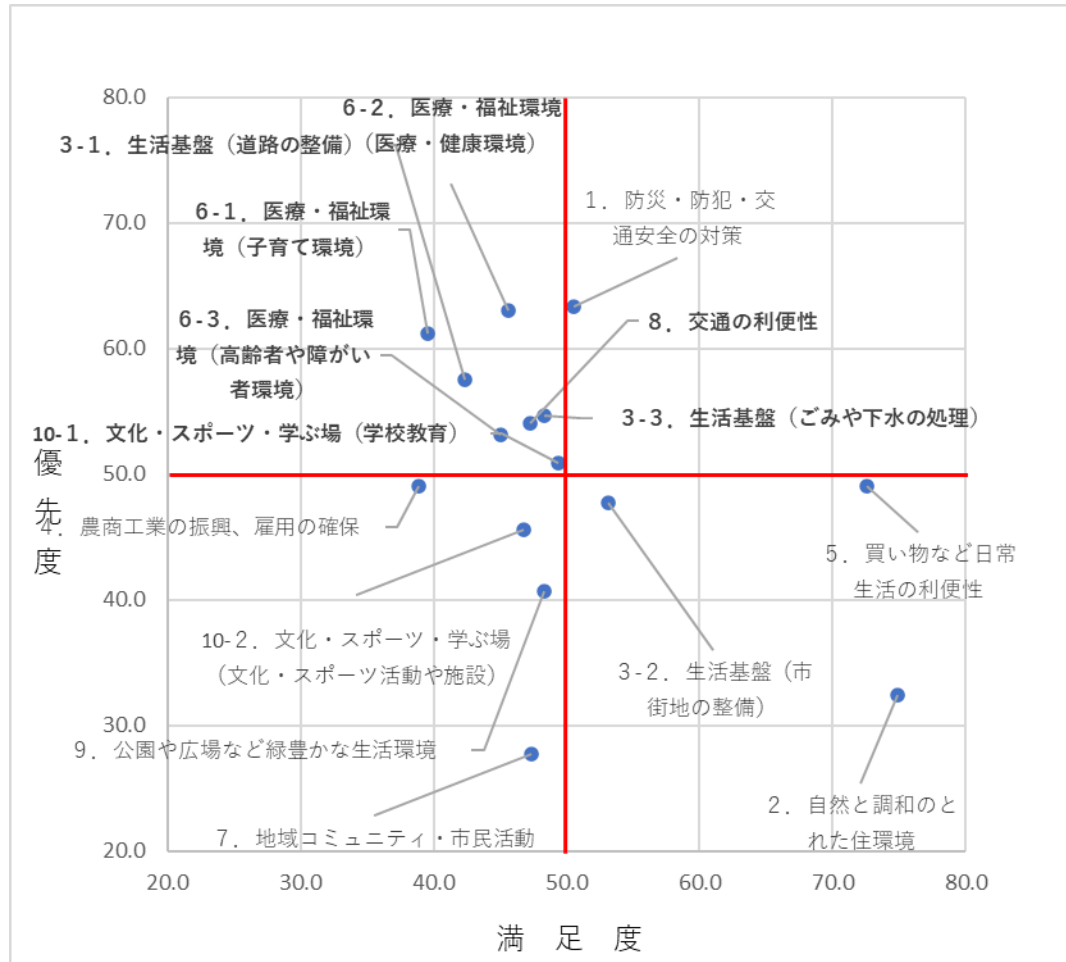
- 最優先に取り組むべきことは「防災・防犯・交通安全の対策」、「医療・福祉環境」、「公園や広場など緑豊かな生活環境」、「文化・スポーツ・学ぶ場（学校教育）」、「交通の利便性」



最優先に改善すべき項目 満足度:低 重要度:高	評価が高い項目 満足度:高 重要度:高
評価が低い項目 満足度:低 重要度:低	現状を維持していく項目 満足度:高 重要度:低

### 3. 取り組みの重要度と満足度：年齢別（40代）

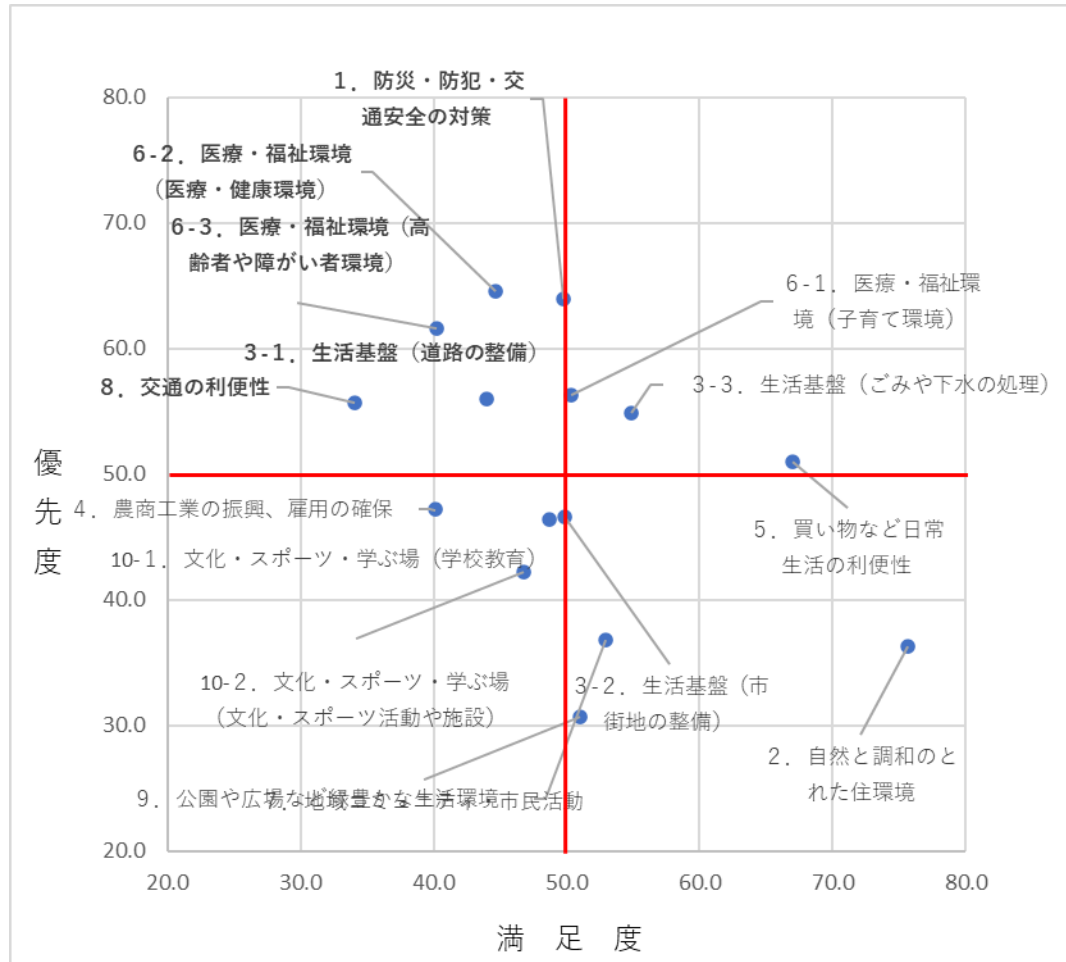
- 最優先に取り組むべきことは「医療・福祉環境」、「生活基盤（道路の整備、ごみや下水の処理）」、「交通の利便性」、「文化・スポーツ・学ぶ場（学校教育）」、



最優先に改善すべき項目 満足度：低 重要度：高	評価が高い項目 満足度：高 重要度：高
評価が低い項目 満足度：低 重要度：低	現状を維持していく項目 満足度：高 重要度：低

### 3. 取り組みの重要度と満足度：年齢別（50代）

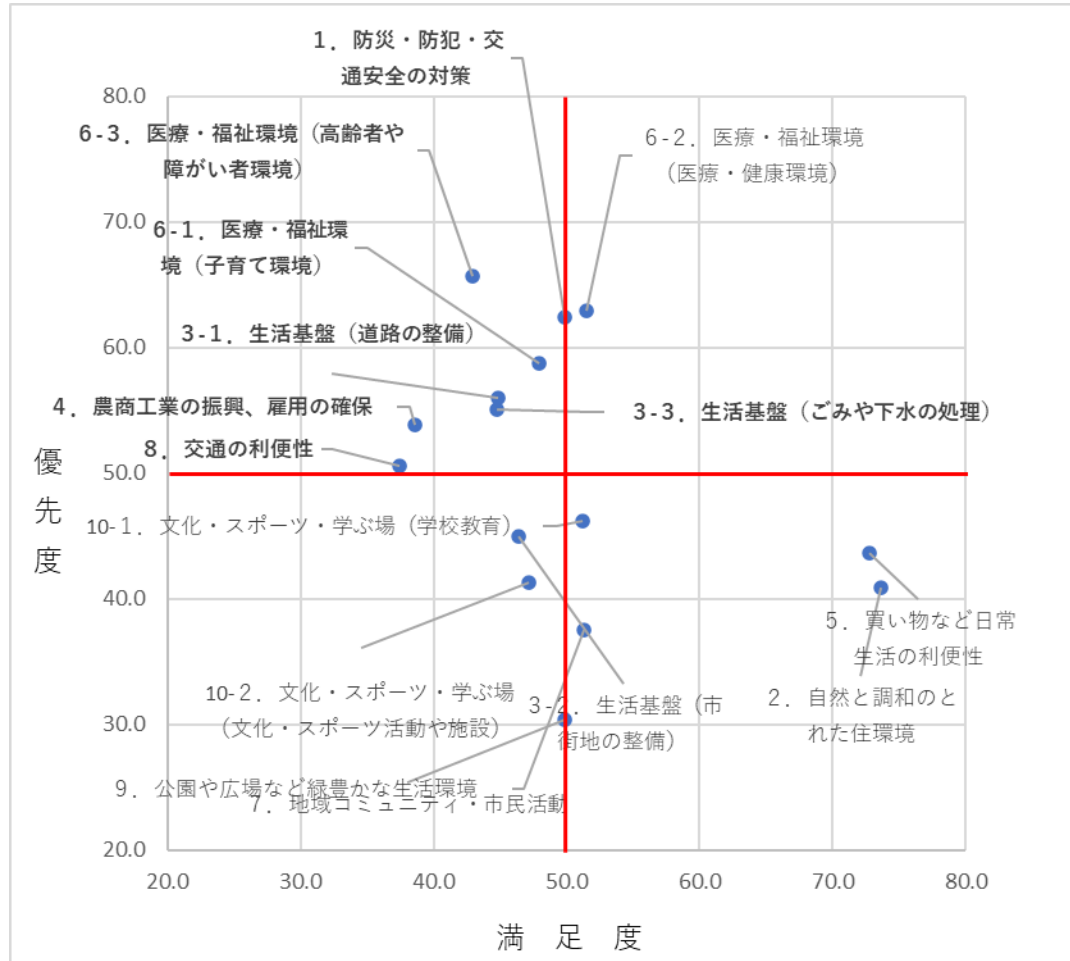
- 最優先に取り組むべきことは「医療・福祉環境（医療・健康環境、高齢者や障がい者環境）」、「生活基盤（道路の整備）」、「防災・防犯・交通安全の対策」、「交通の利便性」



最優先に改善すべき項目 満足度:低 重要度:高	評価が高い項目 満足度:高 重要度:高
評価が低い項目 満足度:低 重要度:低	現状を維持していく項目 満足度:高 重要度:低

### 3. 取り組みの重要度と満足度（年齢別：60代前半）

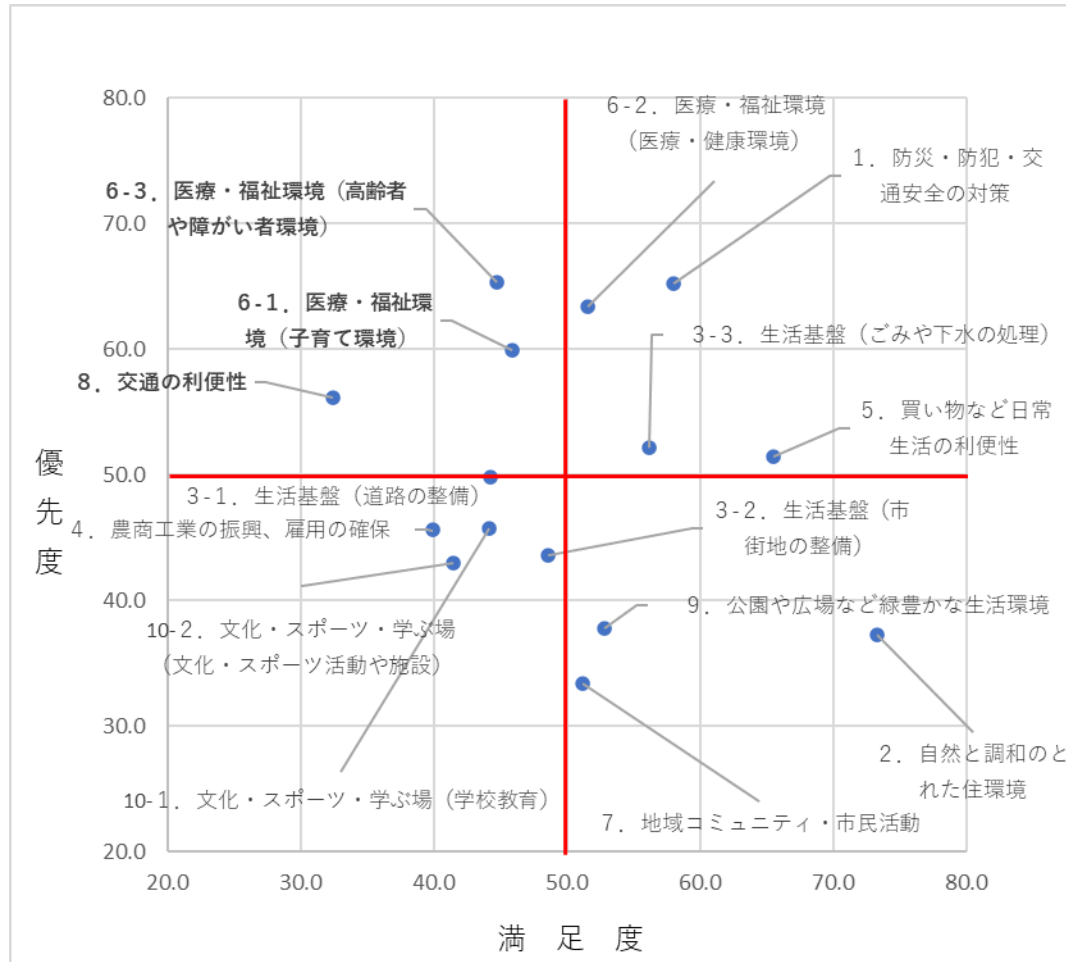
- 最優先に取り組むべきことは「医療・福祉環境（医療・健康環境、高齢者や障がい者環境）」、「生活基盤（道路の整備、ごみや下水の処理）」、「防災・防犯・交通安全の対策」、「交通の利便性」、「農商工業の振興、雇用の確保」



最優先に改善すべき項目 満足度：低 重要度：高	評価が高い項目 満足度：高 重要度：高
評価が低い項目 満足度：低 重要度：低	現状を維持していく項目 満足度：高 重要度：低

### 3. 取り組みの重要度と満足度（年齢別：60代後半）

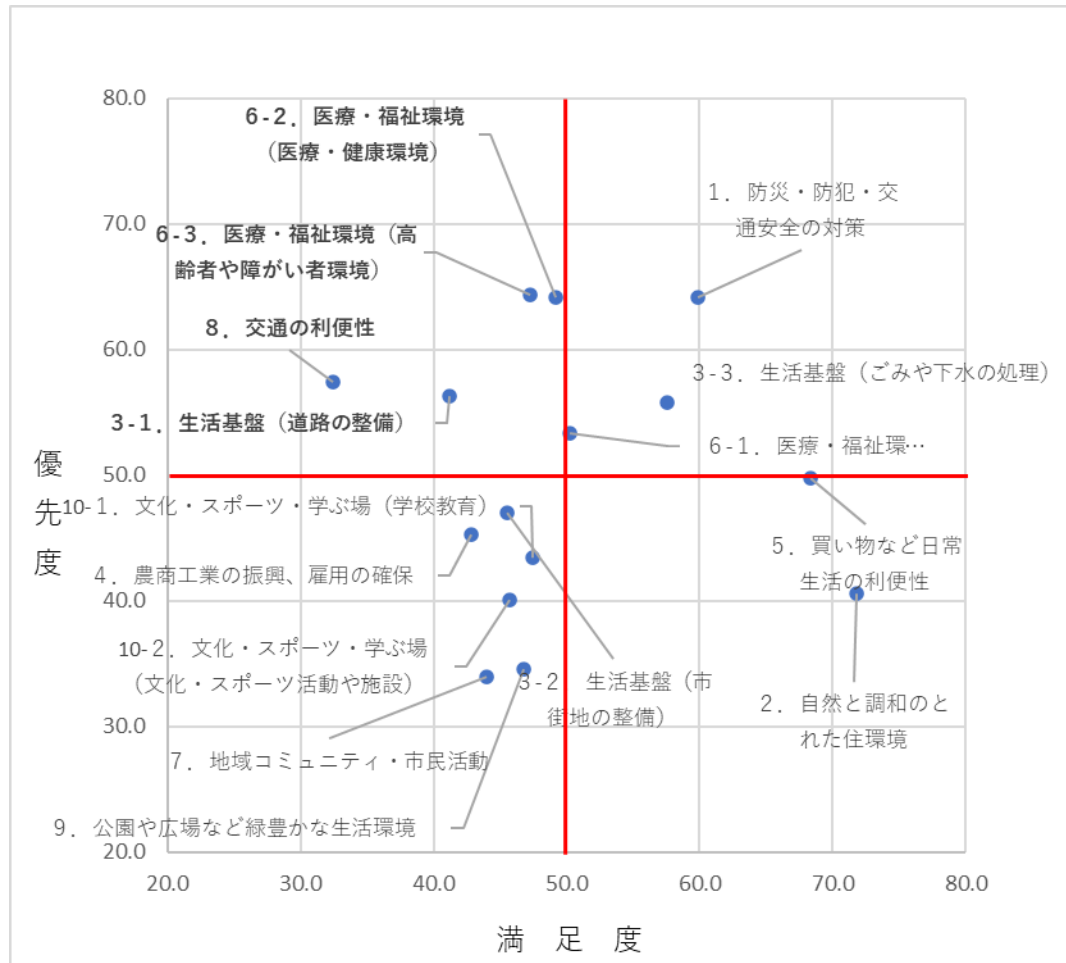
- 最優先に取り組むべきことは「医療・福祉環境（子育て環境、高齢者や障がい者環境）」、「交通の利便性」



最優先に改善すべき項目 満足度:低 重要度:高	評価が高い項目 満足度:高 重要度:高
評価が低い項目 満足度:低 重要度:低	現状を維持していく項目 満足度:高 重要度:低

### 3. 取り組みの重要度と満足度（年齢別：70代）

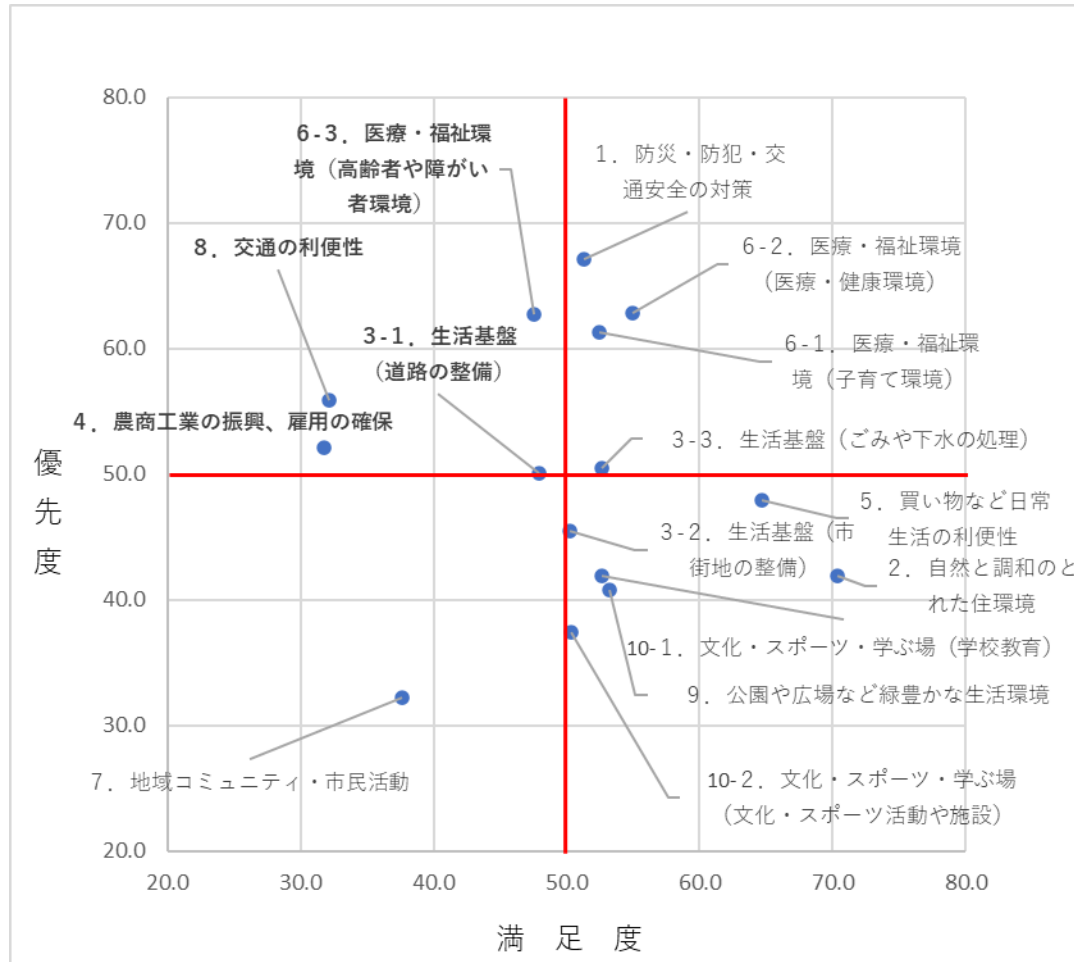
- 最優先に取り組むべきことは「医療・福祉環境（子育て環境、高齢者や障がい者環境）」、「交通の利便性」、「生活基盤（道路の整備）」



最優先に改善すべき項目 満足度:低 重要度:高	評価が高い項目 満足度:高 重要度:高
評価が低い項目 満足度:低 重要度:低	現状を維持していく項目 満足度:高 重要度:低

### 3. 取り組みの重要度と満足度（年齢別：80代以上）

- 最優先に取り組むべきことは「医療・福祉環境（高齢者や障がい者環境）」、「交通の利便性」、「生活基盤（道路の整備）」、「農商工業の振興、雇用の確保」



最優先に改善すべき項目 満足度:低 重要度:高	評価が高い項目 満足度:高 重要度:高
評価が低い項目 満足度:低 重要度:低	現状を維持していく項目 満足度:高 重要度:低

## V. アンケート結果から得られる示唆

---

# 1. アンケート結果から得られる示唆（住みやすさと行政サービス満足度）

## （1）全体

- 「住みやすい」が約9割（88.5%）⇒住みやすさへの高い評価
- 「行政サービス満足度」は74.1%と、住みやすさへの評価に対して約14ポイント低い  
⇒住みやすさは「行政サービス以外（環境等）」の寄与が大きい

## （2）性別

- 女性は男性に比べて、「住みやすさ」や「行政サービス満足度」が低い

## （3）年代別

- 「住みにくい」回答割合では、50代が最も高い

## （4）性別×年代別

- 20代以下の男女と60代前半の「住みやすい」と感じている割合が高い  
一方、女性80歳以上と女性50代の「住みにくい」と感じている割合が高い
- 20代以下の男女の市民サービスへの満足度が高い  
一方、30代女性と50代女性の市民サービスへの満足度が低い  
（特に、50代は「住みにくい」と感じている割合も高い）

## 2. アンケート結果から得られる示唆（市の取り組みの満足度と重要度）

### 1. 全体の「最優先課題」（重要度が高い一方、満足度が低い取り組み）

#### （1）全体

- 交通の利便性＜全施策の中で最も満足度が低い＞
- 医療・福祉環境（子育て環境、医療・健康環境、高齢者や障がい者環境）
- 生活基盤（道路の整備）

#### （2）性別

- 男性：女性に比べて「生活基盤（道路の整備）」の満足度が低い
- 女性：男性に比べて「医療・福祉環境（高齢者や障がい者環境）」の優先度がやや高い

## 2. アンケート結果から得られる示唆（市の取り組みの満足度と重要度）

### （3）年代別

#### 1）若年・子育て世代（20代以下～40代）

- 「子育て環境」や「医療・健康環境」に加え、「文化・スポーツ・学ぶ場（学校教育）」
- 20代以下では「文化・スポーツ・学ぶ場（文化・スポーツ活動や施設）」
- 30代では「公園や広場など緑豊かな生活環境」

#### 2）シニア・高齢層（50代～80代以上）

- 「防災・防犯・交通安全の対策」（50～64歳）
- 「農商工業の振興、雇用の確保」（60～64歳、80代以上）